

「感動の結婚式で気持ちが優しくなれた」と参加者から祝福の声

雄大な自然の中で結婚式を!! 永遠の愛を誓う奥大井結婚式

フォーレなかかわね茶茗館で、4回目となる奥大井結婚式が挙行された。町まちづくり観光協会が企画し「川根本町の雄大な自然の中で挙式したい」と応募した東京都八王子市在住の桜井寿夫さん・淳子さんご夫妻が永遠の愛を誓った。

6月16日、フォーレなかかわね茶茗館で奥大井結婚式が行われました。式を挙げたのは、ともに体が不自由ながら、支え合って車いす生活を送る東京都八王子市在住の桜井寿夫さん・淳子さんご夫妻。ご夫妻は2年前に入籍しましたが式は挙げておらず、「川根本町の雄大な自然の中で結婚式を挙げたい」と応募してくださいました。

町の地域資源を生かした結婚式でまちづくり観光協会が企画しました。4回目となる今回は、初めてフォーレなかかわね茶茗館で開催し、過去3回は大井川鐵道井川線の奥大井湖上駅で挙行されています。

式には、佐藤町長をはじめ、親族や町民、観光客など約100人が参加し、ご夫妻を祝福しました。佐藤町長は「お二人の生きざまに触れることができ、素晴らしい結婚式になりました」とお祝いの言葉を掛けました。

新郎の寿夫さんは「川根本町の皆さんに祝っていただき、感謝します。これから2人で支え合い、助け合って生きていきます」と幸せそうな笑顔でありさつしました。

新郎新婦は誓約書へのサイン、リングリレーによる指輪交換、茶畑やSLをかたどった手作りウエディングケーキへの入刀などを行い、新金谷発のSLが汽笛で祝福すると、ご夫妻が手を振って応える場面もあり、幸せな時間を過ごしました。



- 1 幸せなお二人の笑顔
- 2 ウエディングケーキ入刀
- 3 指輪を見届けるリングリレー
- 4 参加者全員で記念写真
- 5 お子さんから花束のプレゼント

◀和楽座会長・澤井初美さん(徳山)
(写真後列左から2番目)
「おめでとうございます！キュンという気持ちにさせてくれてありがとう!!」





【3年後の五輪へ】

カヌー国内強化合宿

こんにちは

おおむらあすみ
大村朱澄

です!

vol. 9

世界選手権に向けて



今年の目標は「進化」と話す朱澄さん。合宿での様子を報告してくれました。今からロシアに旅立つという空港から連絡をもらうほど、多忙な毎日を送っています。頑張れ、朱澄さん!!



4月から5月にかけて東京を中心に強化合宿を行っていました。6月からは石川県小松市にある木場潟(きばがた)カヌー競技場に合宿地を移しました。世界選手権直前の8月23日まで、石川県小松市を拠点として約2カ月半に及ぶ代表強化合宿を行います。私は大学の授業に出席していたため、10日遅れの6月20日から参加をしました。

木場潟カヌー競技場は、JOC(日本オリンピック委員会)のカヌー競技ナショナルトレーニングセンターとして定められており、何年も前から代表チームの強化合宿拠点となっています。国内屈指の設備が整っている競技場で、全日本選手権の試合会場として毎年使用されています。また、2003年

には世界ジュニア選手権、2008年には北京オリンピックのアジア大陸最終予選会と、世界規模の国際大会も開催されています。

代表チームは8月末の世界選手権でベストの力を発揮できるように考慮されたプログラムに沿って、トレーニング部練習の日が交互になっていて、3部の日は朝6時から練習を始めています。水上練習・陸上練習ともにハードに行い、また練習に集中できる環境であるため、とても充実した合宿ができています。

私は、JOCによる派遣選手としてユニバシアード(大学生選手の世界大会)に出場するため、7月9日から18日までロシアへ行ってきました。

▶ロシアで開催するユニバシアードに旅立つ空港で